

第7回 隠岐の島町庁舎整備計画説明会 都万会場 質疑録

日 時： 平成28年6月1日

場 所： 都万支所

住民参加者数： 23名

(住民A) 今の説明を聞くと、建替をした方が良いと思う。

(住民A) 旧町内に移転となると1町歩(9,900 m<sup>2</sup>)以上の土地を見つけるのは困難だと思う。私は、都万に住んでいるので、歌木方面からでも磯方面からでも行ける原田が望ましい。旧町内でなく新たな考えで進めて欲しい。

→ (役場) 新築移転となれば、検討委員会においては、町の方からいくつかの候補地を提案させていただいて、決めていただくこととなる。

(住民B) 造成費、用地費などはいくらぐらいと試算しているのか？それには合併特例債は充てられるのか？

→ (役場) 合併特例債は基本的に充てられる。敷地は14000 m<sup>2</sup>程度必要と考えている。用地単価が仮に1万円/m<sup>2</sup>としたら1.4億円程度、造成費も同程度必要と考えているが、場所によって大きな変動がある。また現庁舎を解体すれば、これにも1億数千万円必要と考えている。

経済比較で述べた7.7億円の中に収まるようにしないといけないと考えている。

(住民B) 現庁舎は解体するのか？

→ (役場) ふれあいセンターは新しいので事務所として今後も使用することができ、現庁舎は、倉庫などとして使うこともできる。方針が決まれば今後検討する。

(住民A) 合併特例債はあとどのくらい使えるか？

→ (役場) まだ40億円程度の借入は可能である。庁舎建設と町道の改良などに使用する予定だが、道路の改良等には合併特例債より有利な辺地債、過疎債で対応し、それが充てられない道路改良などに合併特例債を使用する。

(住民C) 説明を聞くと、耐震補強より新築が経費的にもいいというのはわかりました。

合併特例債は合併のために使うものなので、場所についても中間的な位置である原田側に移転すべきだ。

(住民C) 合併後、都万は店がなくなるなど寂しくなっている。都万からだ不便になる東郷の方でなく、中心的な原田の方に新庁舎を造って欲しい。

(住民D) 今日来ている人数は少なく、関心が無い人が多いと思うが、来てない人にはどのように周知するのか？

→ (役場) 説明会の内容及び意見については、現在ホームページにも載せていま

すし、今後、各支所でも閲覧できるよう今準備をしています。

(住民 E) 新築についての賛否であれば、新築に賛成だ。

(住民 A) 合併特例債にも期限があり、この説明会で意見を聞いて方針が新築となれば、  
いい庁舎を造るために時間をかけた方が良い。

(住民 C) 説明会后にまた庁内の検討委員会を開くのか？

→ (町長) この説明会が全て終わった後で、皆さんの意見を整理し、6月定例議会で住民代表である議会とすりあわせをしながら新築か耐震補強かの方向性を出す。そして新築でいいということになれば町民をまじえた建設検討委員会をつくる。

もし、移転新築ということになれば場所についてはいろいろな意見があるので地域の皆さんも入ってもらった建設検討委員会で場所を決めたい。これも建設期限が決まっていることから、年内には場所も決めて、来年度には設計、H30・31年度で建設し、H32年4月からは業務開始としたい。

(住民 C) 時間も無いので頑張って建ててください。

(町長) 今日の意見を持ち帰りまして、分析をさせたいいただきながら最終的には議会と相談をして方向性を出したいと思います。